

歴史でみる鳥栖市 1954~2024

昭和29年	昭和31年	昭和33年	昭和34年	昭和35年	昭和36年	昭和37年	昭和38年	昭和39年	昭和40年	昭和41年	昭和42年	昭和43年	昭和45年	昭和46年	昭和48年	昭和49年	昭和50年	昭和51年	昭和53年	昭和57年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成3年	平成5年	平成6年
1954	1956	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1970	1971	1973	1974	1975	1976	1978	1982	1984	1985	1986	1987	1988	1991	1993	1994
市制施行、鳥栖市発足① ▼初代市長に海口守三氏 ▼工場誘致条例制定、積極的な企業誘致が進む	鳥栖小学校第2分校（鳥栖北小学校）開校	鳥栖市土地改良区設立	「御田舞」が県重要無形文化財に指定▼大字を廃止、新町名に	国道34号（永吉―轟木間）開通	鹿児島本線門司港―久留米間電化開通②	市消防本部、市消防署設置	轟木工業団地の分譲開始	国立九州工業技術試験所（現在の産総研九州センター）開設	第2代市長に安原謙市氏	県東部工業用水道事業（第1期）が完成	市庁舎落成（各支所を廃止）	鳥栖西中学校開校（麓・旭中を統合）▼鳥栖基山農業協同組合設立	河内ダム完成③	第3代市長に原忠實氏▼	河内小学校廃校▼鳥栖商業高校開校	鳥栖市の人口が5万人を突破	九州自動車道・鳥栖―古賀間開通	上水道通水式、宝満川から市独自の取水開始	若葉小学校新設開校▼鳥栖商工団地の分譲開始	安永田遺跡が国史跡に指定	鳥栖駅前操車場（ヤード）廃止▼市民憲章、市の花「ハナシヨウブ」制定	長崎自動車道・鳥栖―佐賀大和間開通	鳥栖小学校高田分校廃校	第4代市長に山下英雄氏▼大分自動車道・鳥栖―朝倉間開通▼ジャンクション全面供用開始	鳥栖西部工業団地の分譲開始	「フツペルのピアノ」保存へ⑤▼スポーツ都市宣言	映画「月光の夏」上映	市の鳥「メジロ」制定▼サッカークラブ・PJMFユースチームが鳥栖市に移転



①合同調印式



②鳥栖駅での電化開通の式典



③河内ダム落成



⑦新鳥栖駅を出発した一列車



④昭和54年ごろの鳥栖ジャンクション（大分自動車道は未完成）



⑤フツペルのピアノ



⑧教科「日本語」スタート



⑨特別住民票、特別マイナンバーカードを交付



⑩新庁舎が完成

平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成13年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成30年	令和3年	令和5年	令和6年
1996	1997	1998	1999	2001	2004	2005	2006	2007	2008	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2018	2021	2023	2024
鳥栖駅東西連絡通路「虹の橋」開通▼「鳥栖スタジアム」が完成、こけら落としに約2万人が来場⑥	フューチャーズが解散、「サガン鳥栖FC」が発足▼鳥栖北部丘陵新都市（産業用地）の分譲開始	鳥栖北部丘陵新都市「弥生が丘」の住宅分譲開始	第5代市長に牟田秀敏氏▼鳥栖市の人口が6万人を突破	鳥栖ジャンクションに高架橋「サガングロス橋」が完成	鳥栖プレミアム・アウトレツトが完成▼鳥栖市イメーτζキャラクター・とつとちゃん誕生	福岡県西方沖地震発生、鳥栖市は震度5弱を観測	勝尾城筑紫氏遺跡が国史跡に指定▼佐賀県立九州シンクロトン光研究センター開設▼グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖の分譲開始▼鳥栖貨物ターミナル駅完成	第6代市長に橋本康志氏	弥生が丘小学校新設開校	九州新幹線鹿児島ルート全線開通、新鳥栖駅開業⑦▼サガン鳥栖がJ1昇格決定▼鳥栖西部第二工業用地の分譲開始	まちづくり推進センター開設▼ドイツ・ツアーズ市と「友好交流都市協定」を締結▼鳥栖市の人口が7万人を突破	九州国際重粒子線がん治療センター開設▼久光製薬スプリングスが女子バレーボール史上初の5冠達成	藤木遺跡から青銅器（銅釘）の石製鋳型が全国初出土▼鳥栖市学校給食センターが完成	森林基幹道九千部山横断線開通	熊本地震発生、被災地へ職員を短期派遣	鳥栖市への進出企業数が200社に到達	とつとちゃん、ハルちゃん、ウイントスに特別住民票、特別マイナンバーカードを交付⑨	第7代市長に向門慶人氏▼市役所新庁舎が完成⑩▼サロンパス®アリーナが完成し、久光スプリングスの練習拠点が鳥栖市に▼ゼロカ！ボンシテイ宣言	市制施行70周年▼小郡鳥栖南スマイルインターチエンジへのアクセス道路である県道鳥栖朝倉線が開通